ことしも、魅力いっぱいの観光地〝岩室〟を売り込む

東京などで観光キャラバン

ことしも、温泉と甚句と海のある観光地〝岩室〟を売り込め、と先月五日、東京駅とJR大宮駅のそれぞれで観光キャラバンを実施しました。キャラバン隊は、村、観光協会、温泉旅館組合、芸妓組合、JR関係者ら総勢三十七名の大部隊。キャンペーンは、岩室芸妓の華やかな踊りを皮切りに、ミスJRらがコシヒカリのミニパックや岩室温泉名湯パック、観光パンフレットなどをプレゼント。この思わぬプレゼントに都会の人たちも大喜び。用意した千六百袋のコシヒカリもあっという間になくなりました。この十分な手応えに関係者も大満足。朝六時出発という強行キャラバンの疲れもみせず、二十五万人誘客にむけて、大きな声を張り上げていました。

華やかな踊りと手土産で今年も大盛況だったキャラバン隊

地区をあげてお祭り騒ぎ

間瀬小学校・地区合同運動会

地区をあげての一大イベント「学区・地区合同運動会」が、先月三日(日)にぎやかに行われました。当日は、この日を楽しみにしていた人たちで屋外運動場も超満員。子どもたちに混っての競技では、好プレー珍プレーが続出し応援席も大喜び。今年も子どもからお年寄りまでが楽しんだ運動会でした。

笛吹名人が一堂に集う

先月17日静閑荘で「笛吹名人の集い」が開かれました。当日は、新潟大学佐藤峰雄教授を招いて笛の拍子についての話や「羽返し狭井河の舞」の披露があったりと和気あいあい。そして、この集いをさらに発展させようと、「竹和会」を結成。今後は各地区の文化財や芸能などを研究したり、老人施設などへの芸能慰問もやっていこうと熱心に話し合いが行われていました。(会員募集中)

資源確保へ稚えびの放流

間瀬漁協が車えびの稚えび50万匹放流

ことしは、50万匹の稚えびに願い込めて放流。

沿岸漁業の資源確保をめざして、先月十四日(木)間瀬漁協(組合長本間儀一郎)で、車えびの稚えび約五十万匹を放流しました。この車えびの放流は毎年行われているもので、ことしもこの春に生まれたばかりの稚えびを佐渡より直接購入。十四日早朝に稚えびが到着するや、さっそく間瀬漁協の人たちの手で間瀬海岸沖五百メートルの沖合に放流しました。この沿岸漁業資源確保対策事業は、年々減少傾向にある漁獲高をなんとかカバーし、いままでの獲る漁業から育てる漁業への一ステップとして行われているものですが、なかなかその現状も厳しく、今年も五十万匹を放流しましたが、このうち再び採れるのは数百匹位とほんのわずかとのこと。でも、関係者たちは数年後の豊漁を願いながら、今回の稚えび放流を船上から見守っていました。

■このコーナーでは、皆さんからの情報を募集しています。地区内行事、ボランティア活動などなんでもOK。総務課企画係(☎82—4111内線215)までご連絡ください。
■この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課企画係へご連絡ください。写真をさしあげます。

ぼくわたしの自信作

みついのりこちゃん
(5歳児・和納保育園)

ほんだともこちゃん
(5歳児・和納保育園)

さとうかなこちゃん
(5歳児・和納保育園)

保育園児らと老人クラブで「大きく育てと願いを込め」

世代を超えたふれあい農園

先月1日と9日の両日、甚句枝豆やわなみパンプキン(かぼちゃ)などの栽培活動を通して、産地拡大と異世代間のふれあい交流を図ろうと楽しい〝ふれあい農園〟が開かれました。このふれあい農園、生涯学習事業「むらおこしふるさとふれあい講座」のメインイベントとして毎年大好評をはくしているもので、ことしも岩室地区(枝豆)、和納地区(パンプキン)の両会場で、老人クラブの人たちと園児らで楽しく行われました。

和納地区で行われたわなみパンプキンの苗植え(写真上)
岩室地区では甚句枝豆の種まきとカカシの作成(写真下)

当日は、両会場ともこの日を楽しみにしていたお年寄りたちが多数参加。絶好の種まき(苗植え)日和に恵まれ作業も順調に終りました。園児らの中には「早く大きくなって食べたいね」なんて声も聞こえた楽しい一日でした。なお、夏には収穫祭も予定されています。

〝間瀬峠クリーン大作戦〟

公衆衛生委員と老人クラブが間瀬峠の空き缶ひろい

空き缶がもっとも多かったスカイライン入口附近。

梅雨晴れの先月十三日、村老人クラブと公衆衛生推進委員が合同で、間瀬峠沿道のクリーン作戦を行いました。当日は約百二十人が参加し、老人クラブの人たちが空き缶拾いを、公衆衛生推進委員の人たちが看板立てにと約二時間にわたり作業が行われ、あっという間にゴミ袋五百袋にもおよぶ空き缶が拾い集められました。同沿道は、最近、観光客の増加などにより交通量が増え、その一部の人たちによって捨てられた空き缶が目立ち苦慮していたもので、今回のクリーン大作戦ですっかりきれいになり、同沿道のイメージアップが図られました。

空き缶袋もあっという間に満杯。